



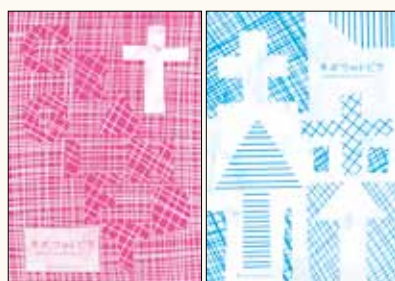
全日本18マラナ・タ 講演会の最終準備

連続講演会、全日本18マラナ・タの一般向けの呼称は、
「キボウのトビラ」講演会に決まりました！

たいへん
お待たせしました！！

「キボウのトビラ」講演会の ポスターができました！

教会掲示用のA2判ポスターと多目的でお使いいただける
葉書を、実施教会宛に3月混載便でお送りいたします。



キリストを意味する Grand Gift という文字が隠されています。

未来という文字が隠されています。

いよいよ、講演会開始まで秒読み段階に入りました。

ある教会は、これまでに精一杯の準備をしてきたことでしょう。しかし、まだ十分な準備ができていないと感じている教会もあるかもしれません。そこで今月は、1月の牧師会後に特別に行われたロン・クルーゼ博士による研修会の資料を元に、今からでもできる講演会準備のポイントを、いくつかご紹介したいと思います。

土台は、できていますか？

- ・過去数か月の間、あなたの教会はセミナーや地域奉仕などを通して、アウトリーチをしてきましたか。
- ・教会員は友だちや同僚に聖書研究を授けてきましたか。
- ・求道者リストを随時更新してきましたか。
- ・過去数か月にわたり、「執り成しのリスト」に載っている方々のために継続的に祈ってききましたか。

以上のことを、あなたの教会で行っていなかったとしても、まだ時間がありますので、今からでもできることに取り組みましょう。今すぐに、真剣な祈りのうちに、求道者リストを作成しましょう。未信者のために祈ることはもちろん、長欠者にも目を向けましょう。

計画をしっかりとてていますか？

- ・どのように講演会を宣伝する予定ですか。
- ・子どものための集会を計画していますか。
- ・必要な奉仕者を確保していますか。訓練はしましたか。
- ・どのような役割が必要か、把握していますか。

宣伝／配布係 受付係
登録係 歓迎係
駐車係 音楽係
食事係（軽食用意） アッシャー係
音響係／メディア係 祈りのチーム
書籍販売ブース係 など

説教の準備はできていますか？

- どの説教を、どの順番で話すか決めていますか。
- あなたに与えられる機会を最大限に活用する準備はできていますか。
- 説教のアウトライン（シラバス）を渡す準備はできていますか。

できるだけ多くの説教をしましょう。変革は、み言葉に触れることで
もたらされます。全日本18マラナ・タの講演会では、最低10回説教する
ことを推奨しています。

ゲスト（求道者）の決心を
把握する工夫は、できていますか？

ゲストが今晚、どのようなことを考えたのかを、知る必要があります
どうすればいいでしょうか？

- 誰が登録、出席、決心をしたかが把握できるシステムを構築する。
- ゲストと接触する「関係作りチーム」を作る。

「関係作りチーム」が会場係になります。会場係は、少なくとも週に2回の打ち合わせをしましょう。

会場係の役割

- 会場係とわかるように、名札をつける。
 - 自分が担当する席に座る人たちに資料を配る。
- 登録カード（最初の晩のみ）
- 応答カード

説教の内容

講演会の説教原稿は、4パターンから選ぶことができます。教団推奨はマーク・フィンレー牧師の原稿26話で、黙示録がテーマです。この中から、あなたの教会の講演会回数分を選んでください。

1	希望の黙示録	神の啓示
2	黙示録における最大の驚き	ダニ2章
3	黙示録に示されているこの世の終わりのしるし	時のしるし
4	黙示録における玉座をかけた大争闘	サタン
5	黙示録における平和を実現するお方	福音
6	黙示録の霊的な力の源	イエス・キリスト
7	黙示録の最後の出来事	再臨
8	黙示録の最も驚くべき預言	三天使
9	黙示録における最後の裁き	2,300日
10	黙示録に学ぶ価値観崩壊への解決	法律
11	地球の最後の闘いにおける黙示録の永遠のしるし	安息日
12	歴史的な最大の偽りを明らかにする黙示録	安息日2
13	カルトの真偽を明らかにする黙示録	カルト
14	黙示録のハルマゲドンの闘いと7つの最後の災い	災い
15	死に関する惑わしを明らかにする黙示録	死
16	黙示録における平和の千年期	千年期
17	黙示録の火の池	地獄
18	現代における新しい人生への啓示	バプテスマ
19	最高の人生を明らかにする黙示録	健康原則
20	なぜこれほど多くの宗派があるのか？	宗教
21	黙示録の最後の訴え	バビロン
22	黙示録に啓示された働き	真の教会
23	黙示録の獣の刻印	獣の刻印
24	黙示録が預言するアメリカ合衆国	米国の預言
25	黙示録で預言されていた終末時代の活動	預言
26	啓示された天国	神の御国

タイトルは現段階での仮のものです。

原稿を早めに入手し、試しに本番と同じように、パワーポイントを使用しながら話してみることをお勧めします。どのくらいの時間がかかるか、どう話したら相手に伝わるか、準備しましょう。

出席カードの役目もします。

初めて来た人には、登録カードをはさんだボードを渡します。集会前に記入していただき、会場係が回収します。



2日目以降

歓迎係が「初めてですか」「2回目以降ですか」と確認します。



登録カード(出席カード)

初めての人の場合

歓迎係が登録カードをはさんだ
ボードを渡します。(会場係がひ
と目で初めての方を確認可能)

2回目以上の人の場合

集めた登録カードを元に、登録係がゲストの名前を確認し、登録カード裏面の欠欠欄にチェックを入れます。登録係は出席者の個人情報管理と出席管理をします。あらかじめ、登録カードを50首順に並べておくとう便利です。ゲストが何回か欠席した場合は、牧師や講師に連絡しましょう。



応答カード



(各種決心カード、左から)キリストへの決心カード、終末時代の働きへの参加決心カード、聖書の教えに対する決心カード、安息日への決心カード、バプテスマ決心カード

バプテスマクラスをいつ行うか？

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 リハーサル/準備	3	4 説教1 (ダニエル書2章)	5 説教2 (福音)
6 説教3 (時のしるし)	7	8	9 説教4 (サタン)	10	11 説教5 (安息日)	12 説教6 (バプテスマ) バプテスマクラス
13 説教7 (健康原則) バプテスマクラス	14	15	16 説教8 (死) バプテスマクラス	17	18 説教9 (再臨) バプテスマクラス	19 説教10 (天国)
20 フォローアップ会議	21	22	23 フォローアップ会議	24	25 フォローアップ会議	26 説教 キリストによる 成長
27	28	29	30	31		

注)これはあくまでも例です。参考にしてください。

会場係の打ち合わせ

- 週に2回、例えば、安息日の午後と水曜日に行います。

- 全員の登録カードと決心カード（日によってカードが異なります）を再確認します。

- 判断をする。

- ① ゲストが欠席した日のDVD、あるいは説教のアウトラインを差し上げるかどうかの判断。
- ② 励ましや質問のために接触するかどうかの判断。
- ③ 牧師による面談の必要があるかどうかの判断。

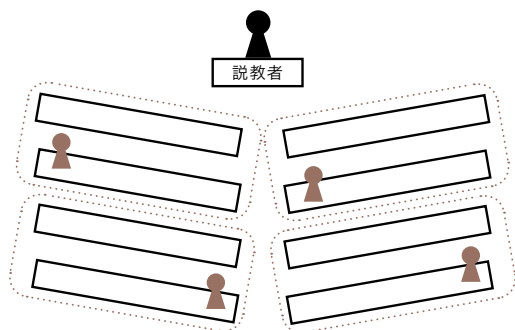
その他の事項

- 多くの時間、労力を必要とします。しかし、報いは大きいということ
- を、すべての奉仕者は覚えましょう。
- 祈りが、人々を決心へと導くことを心に留めましょう。伝道はたくさん
- の祈りを必要とします。
- 説教者は、説教を確かに自分のものとするよう、練習しましょう。た

説教のアウトライン、その他

- 自分が担当する席の人たちの、話し相手（聞き役）になります。
- 自分が担当する席の人たちの心の状況を把握し、彼らのために祈ります。

- ① 説教に對し、どのように反應していますか。
- ② 今晚、どのような決心をしていますか。
- ③ 欠席した日を把握し、欠席日の説教を補う方法を講じます。



会場系の配置例

実際の集会の流れと役割について

講演会が始まってからの一日一日が大切です！
たった一日でも正しい取り組みが行われていないと、収穫のタイミングを逃してしまいます。

- ① 説教をする前に、説教全体を一文で要約することができるようにしましょう。
- ② 説教者は、説教の内容を習得しましょう。パワーポイント（スライドショー）や原稿に頼ってはいけません。
- ③ ゲストをよく観察し、彼らのことを思いながら説教しましょう。
- ④ 質問をする、意図的に間をおくなど、話に変化をつけるようにしましょう。
- ⑤ 原因からその結果に流れるように話しましょう。
- ⑥ 予想される質問に話の中で答えるようにしましょう。
- ⑦ み言葉が変革をもたらします。神の言葉を説明しましょう！
- ⑧ 明快な決心を促すアピールをするようにしましょう。
- ⑨ にこやかに話しましょう。ゲストに関心を示しましょう。
- 説教の後、集会を閉じるまでの流れ
- ① 決心カードを取り出すよう指示し、カードに書いてある項目を説明しましょう。
- ② アピールソングが始まる前にその日の決心を促すア

講演会の流れ 例	
18:00	奉仕者集合、準備
18:45	リーダーたちで最終確認と祈り
19:00	初めて来たゲストに登録カードを記入してもらい、会場係が回収し、登録係に渡す
19:04	歓迎、発表、あいさつ
19:05	初めの祈り
19:10	質疑応答の時間
20:25	説教(75分)
20:30	決心を促すアピール
20:35	アピールソング
	決心カード記入
	祈り
	決心カード回収
	抽選会、発表など
	関心のある人への声かけ

※抽選会は、ゲストの継続出席を促すための工夫の一つです。詳細は伝道局にお尋ねください。

クリアファイルに入った資料を1月の牧師会でお配りしています。参考にしてください。

- ① いて提出すると、次の日のプレゼントの抽選会に応募したことになることを説明する。
- ② みんなで立つてお互いに歓迎し、あいさつをする時間を取りましょう。全員に名前の書いたシールを貼るなどして、名前がわかるように工夫するといいかもしれません。
- ③ 集会開始から10〜12分後には、必ず説教を始めるようにしましょう。（それ以降にはならないように）
- ④ もし質疑応答の時間を持つのなら、それは説教の前にしましょう。

どのように説教するか

- ③ アピールソングを聞いている間に、決心カードに記入するように勧めましょう。
- ④ アピールソングが終わったらすぐに祈りましょう。
- ⑤ 祈りの後、会場係がアシシャーに各種カードを集めるように指示しましょう。集めたカードは登録係に渡します。
- ⑥ カードを集め終わったら、司会者は抽選会を始めましょう。
- ⑦ 抽選会*の後、翌日のトピックについて話しましょう。
- ⑧ すでにバプテスマクラスが始まっている時期であれば、その旨を発表しましょう。
- ⑨ 決心カードに重要な決心を書いた人がいないか、登録係に確認しましょう。
- ⑩ 面談を必要としている人と必ず面談しましょう。必要ならば、次の日の面談の約束をしておきましょう。

目的を忘れないでください！
講演会を行うことが目的ではありません。
キリストを受け入れる決心、
聖書の真理を受け入れる決心、
そして教会員となる決心を得ることが目的です！

- ① 平日夜の集会がうまくいかないと決めつけないでください。あなたが成功をイメージすれば、それは教会全体の幻になります。講演会の日の間隔を2日以上開けないのが理想です。開けば開くほど、ゲスト（求道者）の霊性が前回の状態に戻るまでに時間がかかってしまいます。
- ② 集会当日の始まる前の準備（牧師・講演者の立場からの確認事項）
- ③ 始めの数日は、最低でも、講演会が始まる1時間前に到着しているようにしましょう。音楽係とメディア係は最初に到着するように心がけましょう。
- ④ 会場係の座席に資料を準備しておきましょう（登録カード、各種決心カード、資料、説教アウトライン、ペン、その他）。
- ⑤ 説教者／牧師が説教に集中できるように、当日の奉仕者の取りまとめや事務的なことは、別に全体の責任者をあらかじめ決めておいて、その人が担当するようにしましょう。
- ⑥ 一人ひとりを歓迎する時間を取りましょう。奉仕者はお互いに感謝しあいましょう。
- ⑦ リーダーたちで最終的な打ち合わせと祈りの時間を持ちましょう。

- ⑥ もし説教を録音・録画しているならば、欠席したゲストの訪問に持っていくための分を作成しておきましょう。
- ⑦ 賛美歌の使用方法はどのようなゲストが来ているかによって左右されます。初めて教会に来た人が多ければ、賛美歌は最小限に抑えるようにしましょう。
- ⑧ もし賛美歌を使うならば、明るいものにし、歌詞をスクリーンに映しましょう。時間は短めに（5〜7分）しましょう。
- ⑨ もしアピールソング（特別賛美歌）を歌う人を依頼するならば、毎日集会に出席する予定の一人か二人の中から選んでください。多くの人に依頼しないようにしましょう。
- ⑩ この集会は信者のためではなく、未信者のために行くということを奉仕者と再確認しましょう（しかし奉仕者も祝福は受けます！）
- ⑪ 毎回、時間通りに始めましょう。また時間通りに終わる努力をしましょう。
- ⑫ 集会の司会は、教会員の中心的なリーダーが行いましょう。
- ⑬ 登録カードを、集会の最初に席で書いてもらう場合、司会者は書き方を説明し、記入する時間を取りましょう。
- ⑭ 応答カードについて、説明しましょう。（説教の感想や質問を書くこと。また抽選会を実施する場合は、カードに名前を書

- めらいながら確信のない口調で語ることはできません。心から、説教を語れるようにしましょう。
- 講演会開始後、最初の日曜日に会場係を集め、訪問チームを結成し、各チームに担当を割り当てましょう。
- 講演会開始の日まで、祈りと、求道者との関係作り、この2つのことを真剣に取り組むようにしましょう。
- 子どものためのプログラムを設けることによって、若い保護者の来訪が期待できるので、一考の価値があります。

- 細かな事務が得意な人を登録係にするとよいでしょう。
 - フォローアップ計画を練り、バプテスマを受けて新しく教会員になった人が参加できるような計画をたてましょう。
- 私たちがベストをつくすとき、神様は、多くの喜びを私たちに与えてくださいます。「人間にできることではないが、神は何でもできる」（マタイによる福音書19章26節）というみ言葉を信じて、神様の救いの御業を間近で拝見するお恵みにあずかりたいと思います。